



第189号

中之条自治会

令和八年度前半を経過して

中之条自治会長 武井孝夫

残暑お見舞い申し上げます。毎日のように厳しい猛暑が続いておりますが、地域の皆さまにはお変わりなくお元気でお過ごしでしょうか。今夏の暑さは例年にも増して厳しく、熱中症のリスクも非常に高くなっております。どうか決して無理をなさらず、水分補給などを心がけながら、健康にお過ごしください。

自治会長をお引き受けして半年が過ぎました。役員や班長、地域の皆様に支えられ、何とかここまで務めることができました。日頃の温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。これからもどうぞよろしく願います。

○耐震問題と担い手の確保

一月の総会では、中之条公会堂の耐震性の問題と、自治会役員を円滑に選出していく仕組みづくりという二つの課題が提案されました。前者に

つきましては、回覧した資料と皆様からのご意見を踏まえ、取り組みを進めてまいります。後者についても来年度総会に提案すべく自治会長経験者の助言をいただき、四役会で準備を進めております。取組にあたり、皆さまのご協力、ご意見を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

○防災に関する取り組み

役員会では、消火設備や備品の点検、除雪機・発電機などの点検整備を行うとともに、いざという時に迅速に対応できるよう、通報の模擬訓練や役員間の連絡訓練を実施しております。また、5月には消防団のご指導のもと、消火器の取り扱いをはじめとする初期消火訓練を行いました。参加者からは「体験できて安心した」と好評です。こうした訓練や点検を通じて、「自分たちの地域は自分たちで守

る」という意識を一層高め、今後も安全で安心なまちづくりを進めてまいります。

○上田わっしょい参加

今年も昨年に続き、「上田わっしょい」に参加いたしました。当日は子どもたちを中心に総勢二百十二名が集まり、元気な踊りと弾ける笑顔あふれる、素晴らしいひと時を過ごせました。このような地域住民の絆を深める活動を継続できますのも、皆様からの温かいご寄付とご協力のおかげと、感謝申し上げます。

○一声かけて支え合う地域へ

人と人のつながりが薄れる現代、住民同士が支え合い、温かな絆を感じられる自治会でありたいと願っています。役員負担や未加入でも行政サービスの受けられる現状から加入率の低下が課題ですが、地域とのつながりや老後の安心を求めて新たに入会される方も増えています。

自治会に加入することで、防災や見守り、環境美化など、個人では対応しきれない課題に日々の暮らしの中で共に取り組みむことができます。安心して暮らせる中之条の実現に向け、未加入の方へ気軽に一声をかけ、地域のつながりの輪を一緒に広げていきましょう。

中之条公民館 令和八年度上半期活動報告

公民館長 柳沢進

早いもので公民館長に就任して半年が過ぎようとしています。

当初は右も左もわからず不安でいっぱいでしたが、周りの人たちに支えられ何とか此処まで公民館の仕事を、全うすることが出来ました。これも、皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

一月から四月は、会議や、各種書類の作成提出、選挙立

会等で、忙しく過ぎ五月に入りニユースポーツの、ペタンク大会が城南地域・西部地域合同で行われ、中之条公民館では、五チーム二十一名が参加し楽しい時間を過ごせました。「小さなお子様からお年寄りまでが、同じチームで他

チームと、戦って楽しかったです」「他地域の方々と交流ができて良かった」などのお言葉を頂きました。ありがとうございます。

六月六日には、「子供みんなが社会学習」を開催しました。講演主題

「子供の成長と大人の役割」
上田市教育委員会の龍野武

利さんを、講師にお迎えし講演していただきました。

現代の子供との接し方や寄り添い方など大変興味のある内容でためになる時間であったと思います

八月一五日には【中之条夏祭り】を、開催予定です。皆様の御来場心よりお待ちしております。

★前期活動概要★

- ・一月 公民館総会
- ・例月 運営委員会
- ・五月 城南地域・西部地域合同ペタンク大会
- ・六月 子供みんなが社会学習事業
- ・球技大会（中止）

・七月 上田わっしょい参加
☆今後の活動予定☆

- ・八月 中之条夏祭り
- ・十月 人権同和懇談会
- ・十一月 公民館各部活動報告
- ・十二月 中之条しめ縄作り教室

八月以降も行事が目白押しに行われますので中之条区民の皆様のご参加ご協力をお願い致します。

生活環境部活動

★長野県推奨【ごみゼロ運動】

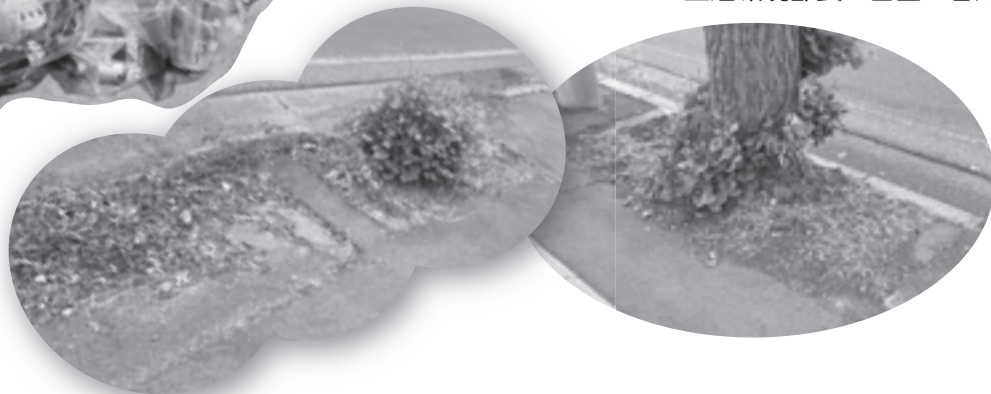
ご協力ありがとうございました!!

5月17日(日) AM8:00～ 自治会四役・各ブロック三役・生活環境部員 31名
暑い中での作業となりましたが、無事に作業を進めていただきありがとうございました!



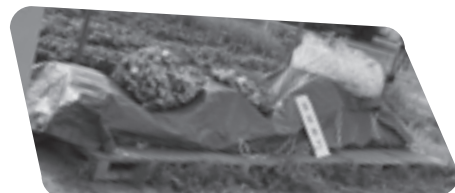
種別	個数	備考
空き缶	10個	ビニール・ たばこの吸い殻 金属破片・ 陶器破片etc
空きびん	4本	
ペットボトル	9本	
その他	5.8kg	

生活環境部長 古田 春江



6B 7B 城南公民館

7B 8B 石原様借地



資源物回収状況

自治会の皆様には日頃から『資源物回収』へのご協力ありがとうございます。



令和7年10月～令和8年3月期間中の資源回収促進交付金34,171円皆様のご協力のもとに、自治会運営費として活用させていただきます。

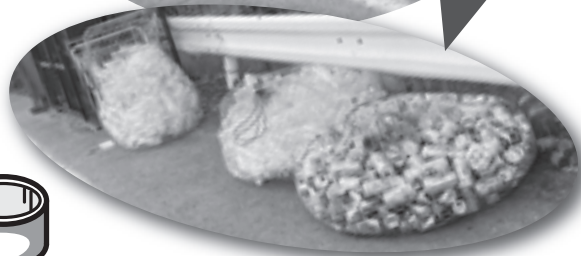
今後ともご協力をお願いいたします。

各回収場所の回収風景

1B 2B 城南児童公園



3B 4B いしがき接骨院様前



3B 5B 中之条精穀所



回収状況見廻りでの癒された出来事

お一人で立会い当番をされている方がおられました。

Q:「お一人で大変じゃないですか？」

A:「どなたか分からないが、体調が悪いのではないかと心配です。」と・・・

朝早い当番を嫌がる所か、他ブロックの誰かも分からない方の心配をされる!!

なんて思いやりの心が深いのでしょうか♡

朝からほっこりさせていただきました。



防災意識を高める 自治会防災訓練を開催

総務部長 吉池 英之

数年ぶりの防災訓練を実施しました

～地域で支える初期消火と防災力の向上～

令和8年5月23日(土)午前10時から正午ごろまで、自治会四役、公民館四役および代表協議委員約20名が参加し、地元消防団の皆様のご指導のもと、防災訓練を実施しました。

当自治会では数年ぶりの開催となりましたが、火災発生時の対応方法や消火設備の使用方法について学び、地域の防災力向上を図る貴重な機会となりました。

近年、全国各地で大規模な自然災害や火災が発生しており、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防災の重要性が改めて認識されています。自治会や自主防災組織が行う防災訓練では、避難訓練、初期消火訓練、消火栓操作訓練、安否確認訓練などが実施されることが一般的です。特に火災発生直後の初期対応は被害の拡大を防ぐうえで非常に重要であり、消防署や消防団が到着するまでの数分間の行動が大きな意味を持つとされています。

今回の訓練では、住宅火災が発生した際の対応を想定し、まず火災発見時の初動対応について説明を受けました。周囲への知らせ方や消防署への通報、住民の避難誘導など、発生直後に必要となる一連の行動について確認しました。



今回の訓練を通じて、改めて次のような点を学ぶことができました。

訓練で再確認したこと

- ・消火器は火元の手前を狙って使用すること
- ・消火栓器具箱内のホースは定期的な更新が必要であること
- ・消火栓は消防署や消防団が到着するまでの初期消火のため、地域住民も使用できること
- ・消火栓を使用する際には、道路上にホースを展張するため交通規制や安全確保が必要になること
- ・地域内には多くの消火栓や器具箱が設置されていること
- ・日頃から防災設備の場所を把握しておくことが重要であること

続いて、消火器の取り扱い訓練を行いました。消防団員からは、「消火器は炎そのものではなく火元の手前を狙い、徐々に火元へ近づけながら消火することが効果的である」との説明がありました。いざという時に慌てないためには、実際に消火器に触れ、操作方法を知っておくことが大切です。

また、地域内に設置されている地上式および地下式の消火栓について、その構造や使用方法について説明を受けました。参加者は実際に器具を確認しながら、ホースの接続方法や放水までの手順を学びました。

訓練では消火栓器具箱の確認も行われました。器具箱内にはホースや管そうなどの消火栓器具が収納されていますが、今回の説明の中で、ホースは自治会負担により定期的な更新が必要であることや、日頃から適切な維持管理を行う必要があることを改めて確認しました。

★質疑応答では、参加者から実際の火災発生を想定した多くの質問が寄せられました。

特に、

てんぷら油から出火した場合の対応方法 火災発生時に地域へどのように周知するか どの段階で消防署へ連絡するべきか

といった質問があり、消防団から丁寧な説明をいただきました。

てんぷら油火災については、水をかけると火災が拡大する危険があるため、適切な方法で対応することの重要性が説明されました。また、火災の規模にかかわらず、火災を発見した時点で速やかに119番通報を行うこと、周囲へ大きな声で知らせることの大切さについても確認しました。





災害や火災はいつ発生するかわかりません。しかし、日頃から訓練を重ね、設備や手順を理解しておくことで、被害を最小限に抑えることができます。今回参加した役員や委員の皆さんも、「実際に器具に触れてみることで、自分たちの地域の防災体制を改めて知ることができた」「消火栓の場所や使い方を学ぶ良い機会になった」と話していました。

自治会では今後も、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災活動に取り組んでまいります。住民の皆様におかれましても、ご自宅周辺の消火栓や避難場所の位置を確認していただくとともに、日頃から防災への関心を持っていただければ幸いです。

最後に、ご多忙の中、実践的で分かりやすいご指導をいただきました消防団の皆様に、心より感謝申し上げます。

ワンポイント防災

火災を発見したら

119番へ通報する

安全が確保できる場合のみ
初期消火を行う

大きな声で周囲に知らせる

※天ぷら油火災には
水をかけないようにしましょう。

無理をせず
速やかに避難する

★身近な防災設備を確認しましょう

今回の訓練では、私たちの地域に多くの消火栓や消火栓器具箱が設置されていることを改めて確認しました。

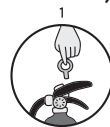
自宅付近の消火栓の場所は知っていますか？

消火栓器具箱の場所は分かりますか？

避難場所への経路は確認していますか？

日頃から確認しておくことが、いざという時の迅速な行動につながります。

消火器の使い方



ペタンク大会

5月10日、新緑がまぶしい季節の中で開催された春の公民館活動「ペタンク大会」は、今年からニュースポーツ体験として取り入れられたこともあり、初参加の方も多く大いに盛り上がりしました。



ベテランの皆さんが初心者に投げ方を教える姿や、コートに響く応援の声に、地域の温かさにつながりを改めて感じました。準備や運営に尽力いただいた役員・ボランティアの皆さまにも心より感謝申し上げます。新緑の中、地域の絆がいつそう深まった行事となりました。



城南公園花壇整備

土木部長 金子 厚志

六月七日、土木部では、地域の環境整備活動の一環として、城南公園内の花壇に夏季用の花苗の植え付け作業を行いました。初夏を迎え、公園を利用される皆さまに気持ちよく過ごしていただけるよう、毎年継続して実施している取り組みです。今年もふれあい協議会の皆さまにご参加いただき、子どもたちの姿も見られる、にぎやかで温かい雰囲気での作業となりました。ふれあい協議会の皆さまには毎年ご協力いただいております、地域活動を支える大きな力となっています。



当日は朝八時に集合し、土木部員とふれあい協議会の皆さまを合わせて約三十名が参加しました。まず花壇全体の土をほぐしながら苗を植えやすい状態に整えました。今回植え付けた苗は、マリーゴールドや百日草など、夏の陽射しに強く、長く楽しめる品種を中心に約百株ほどです。

色合いや高さのバランスを考えながら配置を決め、参加者同士で声を掛け合いながら、一つひとつ丁寧に植え付けていきました。子どもたちも保護者と一緒に苗を運んだり、土をならしたりと積極的に参加し、地域活動に触れる良い経験となりました。



作業は一時間ほどで順調に進み、花壇全体が明るく華やかな印象に生まれ変わりました。植えたばかりの苗はまだ小さいものの、これからの成長が楽しみで、参加者からも「きれいに咲くといいね」「水やりも続けていきましょう」といった声が聞かれました。公園を訪れる地域の皆さまにも、季節の彩りを感じていただけることと思います。

今回の苗植えにご協力いただいた、ふれあい協議会の皆さま、土木部の皆さま、そして子どもたちを含む参加者の皆さまに心より感謝申し上げます。地域の環境整備は、皆さまのご理解とご協力があってこそ成り立つ大切な活動です。土木部では今後も城南公園をはじめとした地域の美化と安全確保に努めてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



編集後記

本号では、日々地域のために力を尽くしてくださっている皆さまに焦点を当てて特集を組みました。環境美化のために汗を流し、地域の安全を守るために目を配り、見えないところで支えてくださる多くの方々の存在が、私たちの暮らしをどれほど豊かにしているか——取材を通じて改めて実感いたしました。

「地域のために頑張っている方々に頭が下がります。」この一文のとおり、皆さまの活動は決して当たり前ではなく、地域の宝です。広報誌として、その思いと姿をこれからも丁寧に伝えていければと考えております。

今後も、地域の魅力や人の温かさが伝わる紙面づくりに努めてまいります。どうぞご期待ください。

(編集委員 吉池英之)

編集委員

第1ブロック	関 正彦
第2ブロック	小松 隆明
第3ブロック	松浦 舞
第4ブロック	鈴木 由美子
第2ブロック	吉池 英之